

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第19回運営委員会議事要旨

- 1 日 時：令和7年11月6日（木）13時30分～14時30分
- 2 場 所：NEC玉川事業場 N312会議室 & オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶*（会長）、甘利（副会長）、遠藤*（副会長）、小山（覚）*、林、柳生、澤*（明田委員代理）、池邊*（星川委員代理）、安部*、蒲生*、岡部*（山際委員代理）、大和田*、Li*、岡島、面陪席者：橋本*（NFLabs.）、小松原（セコム）、市村*（東急総研）、真城*（DRI）、上野（電中研）、横井*（産総研）、松本*（防災科研）、倉谷*（〃）、石塚*（〃）、千葉*（〃）、鈴木（F-REI）、西出（筑波大学）、大貫（〃）、増田*（〃）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）
(敬称略、*…オンライン出席)

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 総会・運営委員会の委員について

岡島委員から、資料1に基づき、委員の交代について説明があり、承認された。
・NTT宇宙環境エネルギー研究所 秋山一也氏 → 池田高志氏

(2) 2025年度R2EC単独開催シンポジウム〔12月1日開催〕について

岡島委員から、資料2に基づき説明があり、開催について承認された。併せて、積極的な会場での参加について依頼があった。

(3) 2025年度R2EC・巨大災害研究会合同シンポジウム〔3月3日開催〕について

岡島委員から、資料3に基づき説明があり、開催について承認された。併せて、セコム科学技術振興財団の学術集会助成に採択された旨の報告があり、今後も類似の助成金情報があれば情報提供願いたい旨の依頼があった。

(4) 共催行事について（関東学院大学 人間共生学部 10周年記念シンポジウム）

岡島委員から、資料4に基づき説明があり、コンソーシアムとして共催することが承認された。

(5) コンソーシアム会員制度の見直しについて

岡島委員から、資料5に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(6) 令和8年度キャリアマッチングデーについて

岡島委員から、資料6に基づき説明があり、開催について承認された。また、開催時期は5月4週目～6月1週目頃として検討を進めることができた。

(7) その他

➤ コンソーシアム入会検討機関について

岡島委員から、(株)日本総合研究所より入会の問合せがあった旨の説明があり、今後入会手続きを進めることができた。

【報告事項】

- (1) JARI 職員向けコンソーシアム・学位プログラム説明会開催報告 (R7.8.29)

岡島委員から、資料 7 に基づき報告があった。併せて、他の機関にも順次訪問を予定している旨の説明があった。

- (2) 第 32 回幹事会開催報告 (R7.7.15)

岡島委員から、資料 8 に基づき議事の報告があった。

- (3) 第 33 回幹事会開催報告 (R7.10.14)

岡島委員から、資料 9 に基づき議事の報告があった。

- (4) その他

防災科学技術研究所の千葉氏から、同研究所が主催する「令和 7 年度第 2 回災害レジリエンス共創研究会（11 月 27 日開催）」について告知および参加依頼があった。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

- (1) その他

特になし

【報告事項】

- (1) 協働大学院教員候補者の推薦について（環境・エネルギーシステム分野）

面委員から、資料 10 に基づき、コンソーシアムから稗貫峻一氏を候補者として推薦し、現在学内審査中である旨の報告があった。

- (2) 協働大学院教員候補者の推薦について（リスク・レジリエンス基盤分野）

面委員から、資料 11 に基づき、日本自動車研究所に候補者推薦を依頼中である旨の報告があった。

- (3) 参画機関インターンシップ参加報告

面委員から、資料 12 に基づき、日本自動車研究所ならびに電子航法研究所において M1 学生がインターンシップに参加した旨の報告があった。

- (4) 令和 7 年度実施入試（8 月期）の結果について

面委員から、協働大学院関連（参画機関所属または協働大学院教員を主指導とする）の合格者が 3 名あった旨の報告があった（博士前期課程 1 名、後期課程 2 名）。

- (5) その他

特になし

以上